

長尾和宏 Dr. 様

謹啓

御多忙中のところ恐れいたします。

1. 「平穏死」妻と子どもも読ませてもらいました。
2. 先生も相当御苦労され、実践的経験に基づいた論文であり、大変感動致しました。
3. 私も日本尊厳死協会の正会員(3年)であります。
4. 「別紙」私も2年かけて、自らのリビングウィルを書きました。なお壁にぶつかっております。御一読戴ければ幸甚に存じます。
5. 近いので一度お目にかかれたいと思っております。

啓白

■年■月29日

前文

日本は長寿世界と自慢していますが、私は長寿は決して決して
美德とは思わない。それは、今、日本の人口は1億2千6百万人です。
その22%が65歳の高齢者です。医学の進歩により更に増加する
であらう。仮に65歳以上が60%超えるようなことになったら
日本は超高齢者社会に突入し、要介護者が爆発的に増加し、
まさに介護一色の世の中になり、いずれ日本は崩壊するかもしれ
ません。ある医学書によれば、40年後（現在100歳以上が5万人
であります）は70万人に増えると推計される。人間は精力的に
働けるのは、65歳が限界でしょう。そこで私の持論ですが、
人間は70歳（古希）になったら、少なくとも要介護者は、本人又は家族が
望めば、尊厳死を選択すべき時期が来ている。その際、医師の
治療行為が、告訴されたり殺人罪に絶対にならないよう、むしろ
感謝されるような法律を速やかに作るなければ、日本は老々社会、
老々介護になるのは必至である。心臓さえ動いていれば意識が
なくとも、胃ろう、チューブ栄養で何十年も生かし続ける現代医療は
明らかに間違っていると断言できる。犬の遠吠ではだめなので、
先ずは法律を作る（或は改正）ことが急務であります。それと
即実行できることは、各自のリビングウィルを所持することです。アメリカでは
オバマ大統領以下41%の者がリビングウィルを所持しています。とりあえず
自分のリビングウィルを書き自ら所持し、家族等にも知らせ、最寄の医療
機関にも渡すことが第一歩かな！

冬になったら樹木の枯葉が散るやうなのが自然現象であり、そのありよう
を見守るのが、究極の医療のあるべき姿と私は思う
戦争もない、平和な日本で自然に逝くのは、まさに尊厳死かな！

担当医師様
担当看護師様

77歳のリビングウィル

記

- A. 私が自宅で倒れ意識不明の場合
- B. 私が外出中で倒れ意識不明の場合
- C. 私が交通事故等により意識不明の場合

A. B. C いずれの場合でも 119番救急搬送されると思いき、その際私の「尊厳死宣言書」を根拠に担当医師様は、一切の応急治療行為をお断りします。たとえ、意識不明が、何日何週間さらに何ヶ月続いたとしても、死亡するまで“放任(放置)して下さい。理由は救急処置、延命治療により必ず発生するであろう、半身不随など、重い後遺症が出て寝たきりになる公算が極めて高いからです。それよりは、寿命に身をゆだねて自然に逝きたいからです。医師としては、患者を応急処置、治療する責任と使命義務があり、職務を放棄することは、法律の壁もあり、極めて困難な決断かとお察ししますが、最終的判斷、証明は健全な状態にある時の私が一切の“応急及び治療行為拒否”と決断していることから、何卒御理解して戴きたいのですが、担当医師の絶対的遺族等から告訴されたり殺人罪にならないよう、重ねて強く要望します。これ以上の“根拠、証明”はどこにもないはずで、すべての“責任”は患者である私自身にあるからです。

の尊厳死宣言書

(3)

私の傷病が現代医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断された場合には、ただ単に死期を引き延ばすだけの延命治療は固くお断りします。憲法13条「人が死(不治かつ末期)に際して自分の死を決める」とは幸福追求権の一つとして認められています。死は誕生とおなじく自然現象であり、崇高なものです。今、私は意識を失っているかもしれませんが、このまま命が尽きたとしても、何も思い残すことはありません。既に病院にいるなら人口呼吸器をつけないでください。つけているなら、すみやかにはずしてください。また、脳出血なら脳を削いたり、心筋梗塞なら詰っている血を溶かしたりしないでください。さらに点滴も・チューブ栄養も、昇圧薬・輸血・人工透析なども含め延命のための治療等一切しないでください。既に行なわれているなら、すべてやめてください。もし私が苦しんでいるなら「モルヒネ」などの痛みをやわらげる緩和治療を行ってください。」

この「宣言書」は私の精神が健全な状態にある時、自筆による私の希望と信念によるものです。また、家族・縁者の同意も得ています。私の「宣言書」による要望を忠実に果たしてください。また、深く感謝申し上げます。また、私の要望に従ってください。医師・看護師等の行為の一切の「責任」は私自身にあることを付記いたします。更に私は脳死後及び心臓が停止した死後のいづれでも「献体」を希望いたします。

正に、人生終末期の最大「イベント」が完了いたしました。

以上
年 月 日

TEL・FAX

(係)

付則

④

1. 私の推測では延命治療は10人のうち9人は望まないと思う。
なぜなら、周囲に多大な迷惑をかけ、植物状態で生きる意味など
全くないからです。
2. 今、日本では要介護者は平均10年と云われています。今後
20年、30年後を考えてみよう。医学はこれまで確に恩恵を我々に
与えてくれたが、要介護者を1分1秒でも長生させようとする考えは
間違っていると思う。
3. なぜ国(厚生労働省)は近い将来、日本の人口の $\frac{2}{3}$ が65歳以上
になったら、日本は暗黒の森の中になる。定年になってからも年金は0とな
れば、定年後は餓死或は自殺者が急増すると思います。
国は予想しているが、おれにも問題が大きすぎ、影響があるので
怖くて、恐ろしくて、夢がでないのだらう。これは未必の故意とでも
云いましょうか! 違いますか。
4. 私の長男47歳、白く、俺らの定年になるころ年金はないだらうと
危惧していた。
5. では今後どうしたらよいか、完璧なものはないが、とりあえず
(1) 50歳になったらリビングウィルを書くこと、延命治療はしない主旨のこと
(2) 要介護者は本人又は家族の同意があれば尊厳死させる法制化
である。決して容易なことではないが、絶対に避けて通れない喫緊の
課題である。
6. 人間は「限界」を知るべきだ。医療もそれなりの限界である。150歳も
200歳まで生きられない。
7. ①②③④のようなことを提言すれば、おれにも非常識、常軌を逸し
ていると云う者もいるかもしれないが無知も甚だしい、愚鈍な私で判るのみ
B. 夢と希望を持って成長している子供達のために、国の勇気ある決断をすべき。
注: 重複した文章になっているが、強調はかく。